

山梨運輸支局 人事異動のお知らせ

平成21年7月1日付

新・勤務地	氏名	旧・勤務地
退職（自動車検査独立行政法人関東検査部）	中村 勇	山梨運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整）
土浦自動車検査登録事務所 運輸企画専門官（登録）	横濱 稔幸	山梨運輸支局 運輸企画専門官（登録）
山梨運輸支局 首席運輸企画専門官（企画輸送監査）	尾形 和也	関東運輸局 交通環境部環境課長補佐
山梨運輸支局 首席運輸企画専門官（登録）	廣瀬 直樹	山梨運輸支局 運輸企画専門官（登録）
山梨運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整）	村松 正美	山梨運輸支局 首席運輸企画専門官（企画輸送監査）

【自動車検査独立行政法人山梨事務所よりお知らせ】

検査機器の校正に伴う検査コースの閉鎖について

検査機器の校正に伴い、検査コースを下記のとおり閉鎖します。
ご不便をおかけしますがご協力よろしくお願ひいたします。

◇コース閉鎖日

8月4日（火）午前 3コース（大小兼用）
午後 5コース（D S）

自動車審査高度化施設の概要について

1. 目的

自動車検査の高度化については、平成19年度から22年度までの第二期中期目標・中期計画の柱の一つに位置付けられた事業です。

自動車検査の高度化は、第一に「3次元測定・画像取得装置」により、新規検査時に車両画像のデータを電子的に収集・保存できる機器等を導入することで、検査後の架装、いわゆる二次架装等の不正防止に取り組むことを目的としております。第二には、「自動車審査高度化施設」により検査結果データを電子的に収集・保存することで、検査結果を記録した検査票を受検者が改ざんする、いわゆる不正車検を防止するとともに、検査データの収集・分析によりリコールにつながる車両不具合を抽出する等国土交通施策に活用されるよう、また、自動車使用者に検査結果を文書で提供することで点検整備の励行を図ることを目的としております。

2. 高度化施設導入後の検査（保安検査の例）（別紙2「高度化施設導入後の検査」参照）

	高度化施設導入後	高度化施設導入前
(1) 審査受付 同一性の 確認	自動車検査証の二次元コードを携帯端末で 読み取り車両を確認し、検査官が携帯端末 に入力。 車両識別コードを検査官が検査票に貼付。	自動車検査証の記載をもとに車両を確 認し、検査官が検査票に押印し手交。
(2) 外観検査	検査結果を検査官が携帯端末に入力。	検査結果を検査官が検査票に記載、押 印し手交。
(3) 機器検査	データを含む検査結果を自動的に収得。	受検者が○×の検査結果を記録器で検 査票に記録。
(4) 下回り検査	検査結果を検査官が携帯端末に入力。	受検者が○×の検査結果を記録器で検 査票に記録。
(5) 総合判定	車両識別コードを読み取り、検査結果を確 認のうえ総合判定。 審査結果通知書及び審査結果記録を出力。	受検者の受検票の記載内容を見て総合 判定。 検査官が検査票に押印。

3. 自動車審査高度化施設による効果

- ①二次架装などの不正改造車の排除
- ②検査データの電子化による不正受検の防止
- ③検査結果の情報提供による保守管理意識の向上
- ④統計処理等による検査結果の有効活用
- ⑤リコール等の国土交通施策への活用
- ⑥審査機器の稼働状況を把握しコース閉鎖時間の改善

4. 今後のスケジュール

検査車両を使用した試験運用に移行する予定ですので、ご理解ご協力をよろしくお願い
します。

（JASPA7月号 34ページ参照）

高度化施設導入後の検査(保安検査の例)

